

## 【2年次・前期〔講義〕2単位 必修】全学

《目的》キリスト教思想における世界観、人間観を学ぶことを通して、人生の意義や人間の尊厳、死に対する考え方を身につけ、人間らしく豊かに生きるための指針を探る。

《到達目標》1. キリスト教思想に関する基礎知識・教養を習得し、それについて説明できるようになる。  
2. 習得した知識・教養を活かして、人生の課題に主体的に取り組めるようになる。

《評価基準》①試験・小論文(80%)  
②受講態度(20%)

《テキスト》『聖書—旧約聖書続編つき 新共同訳』（日本聖書協会）  
アルフォンス・デーケン著『キリスト教と私』（聖母の騎士社）

《指定図書》なし。

《履修上の注意》なし。

《授業計画》

1. イエス・キリストの言葉と行い(1)—マタイ福音書から
2. イエス・キリストの言葉と行い(2)—ヨハネ福音書から
3. 神の国の福音—愛の教え
4. キリストの受難とその意味
5. キリストの復活とその意味—初代教会の誕生
6. 祈りと宗教儀礼—人間はなぜ祈るのか
7. 死から見る生の哲学（死生学）
8. 命の尊さに関する考察(1)—自然科学が教えること
9. 命の尊さに関する考察(2)—生命哲学と環境論
10. キリスト教における男女観と性のモラル
11. キリスト教における結婚—結婚とは何か
12. キリスト教史から学ぶ(1)—十字軍の教訓と諸宗教との対話
13. キリスト教史から学ぶ(2)—宗教改革と教会の使命
14. キリスト教と文化—インカルチュレーション（福音の文化的受肉）の問題
15. 正義、愛、平和への道

**【1 年次・前期〔講義〕 2 単位 選択】 全学**

《目 的》世界および人間に関する真理を探究するための知識を学び、人間らしく知性豊かに生きるための思考方法を身につける。

《到達目標》 1. 基本的な哲学理論・用語について理解し、説明できるようになる。  
2. 哲学的に思考する習慣を身につけ、自己の生き方の向上に活かせるようになる。

《評価基準》 ①受講態度(20%)  
②研究レポート(80%)

《テキスト》なし(テーマごとに講義レジュメ、参考資料を配付する)。

《指定図書》なし。

《履修上の注意》研究レポートを作成するために、講義内容に関連する3冊以上の本を読むこと。

**《授業計画》**

1. 知ることの意味——人間にとって知識とは何か
2. 自然哲学(1)——古代ギリシャ哲学から
3. 自然哲学(2)——ユダヤ・キリスト教思想から
4. 自然哲学(3)——自然および生命の価値と環境論
5. 存在論(1)——プラトンとアリストテレスの思想
6. 存在論(2)——形而上学の意義について
7. 認識論(1)——合理主義
8. 認識論(2)——経験主義
9. 認識論(3)——観念論
10. 言語哲学(1)——言語と精神の結びつき
11. 言語哲学(2)——言葉の貧しさと望ましいコミュニケーション
12. 哲学的人間論(1)——人間性とは何か
13. 哲学的人間論(2)——人生の意味について
14. 歴史哲学
15. 研究レポート作成指導